

ロータリー財団について

持続可能な良い変化を生み出すために

 第2610地区・金沢ロータリークラブ

 2026年1月24日

柴田 剛介

SHIBATA KOSUKE

第2610地区

財団委員会 委員長
(2025-2026)



金沢ロータリークラブ 所属

2017年4月17日 入会



グランファルマ株式会社

代表取締役



財団認証

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)

ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS)

“あなたのそばの財団委員会”

財団を身近に、分かりやすく理解していただくために

MISSION & VISION

財団のミッション・ビジョン



3 PILLARS (好循環をつくる3本の柱)



Fundraising

資金調達



Grants

補助金



Advocacy

提唱活動



TAKE ACTION

お願い！



公共イメージの向上



持続可能な良い変化の創出

◎ MISSION STATEMENT

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、**世界理解、親善、平和**を達成できるようにすることです。



平和構築と紛争予防

紛争の原因に取り組み、
平和な社会の基盤を築く



疾病予防と治療

疾病の蔓延を防ぎ、
医療アクセスの向上を支援



水と衛生

安全な水と衛生設備の提供によ
り、生活環境を改善



母子の健康

母子の命を守り、
健やかな成長を包括的に支援



基本的教育と識字率

教育の機会を広げ、
地域社会の識字率向上を推進



地域経済の発展

起業家支援や職業訓練を通じ、
持続可能な経済を育成



環境保護

自然環境の保全と気候変動対策
への取組を強化

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、**持続可能な良い変化を生むために**、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

4つの戦略的優先項目と目標



1. ポリオ根絶

世界中からポリオをなくすための活動を継続し、歴史的な偉業を完遂する



2. 補助金の活用と持続可能性

7つの重点分野における奉仕活動の持続可能性を高め、長期的な成果を生み出す



3. DDFの活用奨励

地区財団活動資金（DDF）の全額活用を推進し、地域と世界の課題解決に貢献する



4. 恒久基金の拡大

恒久基金として冠名基金を設置・推進し、財団の未来と安定性を確保する

3 PILLARS (3本の柱)

財団の活動は、この3つの柱によって支えられています



Fundraising

資金調達

財団の使命に共感するロータリアンに対して寄付の推進を行い、活動資金を確保します。



Grants

補助金

寄付金を原資として、クラブや地区が行う奉仕活動に対して資金的支援（補助金）を提供します。



Advocacy

提唱活動

社会的弱者の救済活動やポリオ根絶などの重要課題について、社会的な理解と促進を図ります。

これらが連動することで、持続可能な良い変化を生み出します

Fundraising（資金調達）




定義

非営利団体が社会課題解決のため、共感を得ながら必要な資金を個人・法人等から集める行為



年次基金 (Annual Fund)




「今日の活動」を支える資金

-  3年運用後に全額使用
-  寄付金が直接的な活動資金へ
-  シェアシステムで地区へ還元

即効性のある地域・国際支援

恒久基金 (Endowment Fund)

「明日の活動」を保障する資金

-  元本を維持し収益のみ使用
-  未来永劫続く支援の源泉
-  財団の存続と安定性を確保

未来への投資・長期的な安定

Grants（補助金）

定義 ロータリアンの奉仕活動を支援するための資金

寄付（Annual Fund）

皆様からのご寄付



3年運用

投資収益が運営費をカバー



シェアシステム（配分）

47.5%

地区財団活動資金
(DDF)

47.5%

国際財団活動資金
(World Fund)

運営費 5%

地区補助金 (District Grants)

目的 地域社会の短期的な課題解決

決定 地区で決定・管理（柔軟）

原資

DDF

グローバル補助金 (Global Grants)

目的 7つの重点分野における
持続可能な大規模活動

決定 国際ロータリー財団で承認

規模

\$30,000~

Advocacy（提唱活動）

定義 特定の問題に関して社会的弱者の権利を保護したり、主張を代弁したりする活動



ポリオ根絶

歴史的事業の完遂に向けた
啓発と資金支援の呼びかけを継続



平和フェロー育成

紛争解決と平和構築を担う
世界的リーダーの輩出と支援



災害救援

緊急時における迅速な支援活動と
復興への継続的かつ長期的な協力

好循環の創出



Advocacy

認知・理解の向上

共感・参加



Fundraising

寄付・資金の確保

活動資源



Grants

奉仕活動・実績

成果が信頼を生み、更なる支援へ

PILLAR 01



Fundraising

資金調達

非営利団体が社会課題の解決を目指す活動に共感を得ながら、必要な資金（寄付金等）を個人や法人、政府等から集める行為



Fundraising - 4つの条件



基金の種類

様々な基金オプションを通じて、効果的な資金調達を実現します。



寄付の目標

明確な目標設定により、計画的な資金調達を推進します。



寄付者の認証

寄付者への適切な認証により、継続的な支援を促進します。



基金の運用

効率的な基金運用により、持続可能な活動を支援します。



基金の種類

ロータリー財団には、目的に応じて主に3つの種類の基金があります



Annual Fund

年次基金

「今日の活動」を支えるための基金です。3年間の運用を経て、地区・グローバル補助金として活用されます。

主な用途：シェア、WF、重点分野



Endowment Fund

恒久基金

「未来の活動」を安定させる基金です。元金は維持され、投資収益のみが活動資金として使われます。

主な用途：恒久的な支援、冠名基金



Directed Gifts

使途指定基金

ポリオ根絶活動や災害救援など、特定の目的や緊急の課題に対して直接的に活用される寄付です。

主な用途：ポリオプラス、災害救援

皆様の寄付は、これらの基金を通じて世界中で効果的に活用されます

⚖ 年次基金と恒久基金の違い

両基金は互いに補完し合い、ロータリーの活動を支えています

| 項目 | 🎵 年次基金 Annual Fund | ∞ 恒久基金 Endowment Fund |
|----|----------------------------|-------------------------------|
| 目的 | 今日の活動を支える | 未来の活動を安定したものに |
| 原資 | 年次寄付（即時利用可能） | 寄付元金を維持し、 投資収益のみ を使用 |
| 使途 | シェアシステム、地区補助金、グローバル補助金、WF等 | 収益を各プログラムや補助金へ配分 |
| 期間 | 短～中期的な資金活用 | 超長期的・永続的（世代を超えた支援） |
| 特徴 | フレキシブルに活用可能 | 寄付者の名前を冠した 冠名基金 の設立が可能 |

🔄 両者は「補完関係」にあります

ひとり一人が、毎年、寄付してほしいという計画
地区は明確な目標額を設定しています



年次基金

\$ 150 / メンバー

今日の活動を支えるための
基本的な寄付目標



ポリオプラス基金

\$ 30 / メンバー




ポリオ根絶活動を完遂するための
特別寄付目標



年次寄付を推進する世界マーケティング計画（2004年採択）

この計画に基づき、各地区・クラブはメンバー一人当たりの寄付目標を設定し、財団活動を支えています。

寄付実績に基づく認証

| 認証名 | 条件・内容 |
|---|---|
|  「財団の友」会員 | 毎年 100ドル以上 のご寄付をいただく会員 |
|  ポール・ハリス・フェロー (PHF) | 1,000ドル のご寄付に対する認証 |
|  マルティプル・ポール・ハリス・フェロー | 2,000ドル ~ 9,000ドル のご寄付に対する認証（1,000ドル毎） |

誓約に基づく認証（ソサエティ）

| | |
|--|---|
|  ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) 毎年 1,000ドル以上 のご寄付を誓約 |  ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS) 毎年 100ドル以上 のポリオ撲滅活動へご寄付を誓約 |
|--|---|

寄付と顕彰

ロータリーの未来を支える多額寄付や遺贈に対する特別な認証制度です

Level 1


ベネファクター

\$1,000 以上

恒久基金への寄付、または遺言その他遺産計画の受取人としてロータリー財団を指定した場合に授与されます。

遺産計画による支援の第一歩

Level 2


メジャードナー

\$10,000 以上

ロータリー財団への個人的な寄付累積額が10,000ドルに達した寄付者に贈られる栄誉ある認証です。

クリスタルと記章が贈呈されます

Level 3


アーチ・クランフ・ソサエティ

\$250,000 以上


累積寄付額が250,000ドル以上の卓越した寄付者に授与される最高位の認証です。

世界本部ギャラリーに肖像を掲示

基金の運用実績（収益率）


年次基金

| | |
|---------------|------|
| 2023-24年度 収益率 | 4.9% |
| 過去5年間 平均収益率 | 3.2% |

 この収益はキャピタルゲイン、利子、配当金の合計です。

恒久基金

| | |
|---------------|-----|
| 2023-24年度 収益率 | 12% |
| 過去5年間 平均収益率 | 7% |

 この収益はキャピタルゲイン、利子、配当金の合計です。

恒久基金の成長（過去5年間）

恒久基金は着実に成長を続け、より多くの奉仕活動を永続的に支援する基盤となっています。

4億8,200万ドル
5年前



7億3,600万ドル
現在

※データ出典：ロータリー財団 2023-24年度報告

✔ TAKE ACTION! (Fundraising)

私たち一人ひとりの行動が、世界を変える力になります

⚡ 今すぐできるアクション



MY ROTARYに登録

寄付履歴の確認や各種手続きがスムーズになります



年次基金への寄付

目標：年間150ドル/人（今日の活動を支える）



ポリオプラスへの寄付

目標：年間30ドル/人（ポリオ根絶活動の完遂へ）

★ 次のステップ（継続的な支援）



PHS（ポール・ハリス・ソサエティ）に入会

年間1,000ドル以上の寄付を誓約



PPS（ポリオ・プラス・ソサエティ）に入会

年間100ドル以上のポリオ撲滅活動への寄付を誓約



寄付の準備をする（自動化）

ロータリーカード登録や定期寄付の設定

PILLAR 02



Grants

補助金

ロータリアンのクラブ活動を支援するための資金。地区補助金とグローバル補助金を通じて、地域社会と世界に変化をもたらします。

シェアシステム（寄付から補助金へ）








DDF利用限度額（2026-2027年度）

District 2610

地区財団活動資金（DDF）の構成と利用可能額

| | |
|---|---------------|
|  年次基金からの配分 | \$ 130,839.45 |
|  恒久基金からの配分 | \$ 8,994.57 |
|  合 計 (DDF総額) | \$ 139,834.02 |

地区補助金として利用できる金額（50%）

 利用可能額

\$ 69,917.01

地区補助金 (District Grants)



目的 (Purpose)

地域社会のニーズに応える奉仕プロジェクトや職業研修チームを支援する活動。



拠出額 (Funding)

DDFの利用限度額の **50%以内** で、地区が自由に決定し配分できる。



申請手続き (Process)

クラブは地区の定める手続きに従って申請し、地区管理委員会による承認を受ける。

グローバル補助金 (Global Grants)



目的 (Purpose)

7つの重点分野において、持続可能で測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支える。



事業規模 (Budget)

事業規模：最低 **30,000米ドル**以上
WF上限額：**400,000米ドル**



拠出の仕組み (Funding)

DDFからの拠出に加え、その **80%の額** **がWFから追加**で拠出される。



申請手続き (Process)

事業を実施する地区又はクラブが、**直接ロータリー財団管理委員会**へ申請・承認を受ける。

🌟 クラブの参加資格認定（申請条件）

補助金を申請するためには、以下の3つの条件をすべて満たす必要があります

1

補助金管理セミナーへの出席

クラブの代表者が地区主催の補助金管理セミナーに参加し、知識を習得することが必須です。

2

クラブの覚書（MOU）への同意と署名

財団の資金管理に関する責任と義務を定めた覚書に、クラブ会長と次期会長が署名します。

3

地区が独自に設けている要件への同意

報告書の提出状況や財団活動への協力など、地区が定める追加要件を満たす必要があります。

✔ TAKE ACTION! (Grants)

補助金を活用して、クラブの奉仕活動を実現しましょう

▶ 準備と相談



担当小委員会に相談

早期の相談が成功への鍵です。計画段階からサポートを受けましょう



補助金管理セミナーに参加する

申請にはクラブからの出席が必須条件です（毎年）

🗂️ 申請に向けて



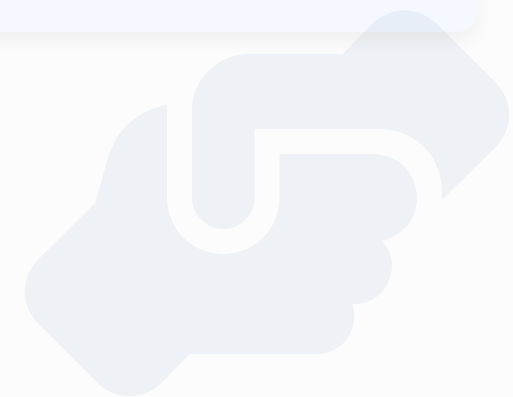
補助金の活用計画を立てる

地区補助金を活用して、地域ニーズに取り組む事業を計画



グローバル補助金の検討

大規模事業を計画する際は、地区および財団への事前相談が必須です



PILLAR 03



Advocacy

提唱活動

特定の問題に関して社会的弱者の権利を保護したり、主張を代弁したりする活動。

ロータリーのアドボカシー活動

ロータリー財団は、主に以下の3つの重要分野で提唱活動を展開しています



Polio Eradication ポリオ根絶活動

ポリオのない世界を目指し、ワクチンの投与や監視活動を通じて、子どもたちの未来を守ります。世界中で25億人以上の子どもにワクチンを投与してきました。

ポリオプラス基金



Peacebuilding 平和フェローの育成

紛争解決と平和構築の専門家を育成し、世界各地で平和の推進に貢献するリーダーを輩出します。ロータリー平和センターで専門的な教育を提供しています。

ロータリー平和センター



Disaster Response 災害救援活動

自然災害や人道的危機に際して、迅速な支援を提供し、被災地の復興を後押しします。義援金や物資提供、復興プロジェクトを実施します。

災害救援基金

社会的弱者の権利を保護し、主張を代弁することで、世界理解と平和を促進します

🕒 ポリオ根絶の歴史（HISTORY）

1979

フィリピンでの第一歩

マカティで経口ワクチン投与を開始。最初のワクチン投与を実施。

1985

ポリオプラス始動

ロータリーがポリオ根絶キャンペーン「ポリオプラス」を正式に発足。

1988

GPEIの発足

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の主要パートナーとなり活動が加速。

Today

歴史的な成果

累計**25億人以上**に投与。
1988年以来、症例数は**99.9%減少**。



ポリオの現状

1988年以来の成果

99.9%

全世界のポリオ症例は劇的に減少しました。ロータリーとパートナー団体の長年の努力の結晶です。

常在国は残りわずか

2カ国

現在もポリオが常在する国は、
アフガニスタンとパキスタンのみです。



2024年の懸念

今年は発症件数が増加傾向にあります。
根絶に向けたさらなる支援が必要です。

野生型ポリオウイルスによる発症件数

(単位：件)

| 年 |  アフガニスタン |  パキスタン |
|------|---|---|
| 2024 | 25 ↑ | 63 ↑ |
| 2023 | 6 | 6 |
| 2022 | 2 | 20 |
| 2021 | 4 | 1 |
| 2020 | 56 | 84 |

 データ出典：GPEI (Global Polio Eradication Initiative) / 2024年は暫定値

✓ TAKE ACTION! (ポリオ根絶)

ポリオのない世界を実現するために、私たちにできること

⚡ 今すぐできるアクション



MY ROTARYに登録

寄付の第一歩、情報の拠点となります



ロータリーカードで決済

日常の支払いがポリオ根絶の支援につながります



ポリオプラス基金に寄付

ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せ支援も得られます

👥 イベント参加と継続的支援



PPS (ポリオ・プラス・ソサエティ) 入会

年間100ドル以上の寄付を誓約し、根絶を加速させる



世界ポリオデー (10月24日) に寄付

世界中で一斉に行動を起こす特別な日





ロータリー平和センター

紛争解決と平和に関する国際問題について研究するためのフェローシップ制度です。

次世代の世界で活躍できる
国際的リーダーを育成します

ROTARY FELLOWSHIPS

修士号取得プログラム

主要な大学で、平和と紛争解決に関連する分野の修士号を取得するための包括的なプログラム。

専門能力開発修了証プログラム

実務経験を持つ専門家向けの短期集中プログラム。平和構築、紛争解決、リーダーシップのスキルを強化。

SINCE 2002

1,700人以上

平和フェロー輩出数

GLOBAL IMPACT

140カ国以上

卒業生の活躍フィールド

CENTERS

7拠点・**8**大学

世界中の提携パートナー

ロータリー平和センター提携大学



国際基督教大学 (ICU)

日本・東京



チュラロンコン大学

タイ・バンコク



クイーンズランド大学

オーストラリア・ブリスベン



ウプサラ大学

スウェーデン・ウプサラ



ブラッドフォード大学

イギリス・ブラッドフォード



マケレレ大学

ウガンダ・カンパラ



デューク大学

アメリカ・ノースカロライナ州



ノースカロライナ大学

アメリカ・チャペルヒル校

TAKE ACTION! (平和センター)

平和構築の担い手を育て、世界に平和をもたらすために

支援の第一歩



MY ROTARYに登録

平和フェローシップに関する最新情報を入手



ロータリー平和センターへ寄付

次世代の平和構築リーダーの育成資金を支援

人材の発掘と推薦



クラブから候補者を推薦

地域社会の有望な若手リーダーを発掘し推薦する



2610地区として推薦

地区レベルでの選考を経て、世界への輩出をサポート



災害救援基金（Disaster Response Fund）を通じた3段階の支援体制

Step 01



IMMEDIATE RELIEF

即時の救援

災害発生直後に、現地のクラブがパートナー団体と連携して緊急対応を行います。ボランティア活動や緊急物資の供給を実施します。

Step 02



SHORT-TERM SUPPORT

短期的な支援

被災地の生活を立て直すため、世界中のクラブと地区が義援金や物資提供のかたちで支援を行います。一時的な避難所などを提供します。

Step 03



LONG-TERM SUPPORT

長期的な支援

ロータリークラブが被災地の復旧・復興プロジェクトを計画し、実施します。インフラの再建など、地域社会が立ち直るまで支援します。

災害別のロータリー災害救援基金

ロータリー財団は、特定の災害後に個別の基金を設置し、緊急救援活動を支援します

| 基金名 | 寄付受理の期限 | 補助金支給の期限 |
|---|--------------|-------------|
|  ブラジル洪水救援基金 | 2024年 8月31日 | 2025年 5月8日 |
|  モロッコ地震救援基金 | 2023年 12月31日 | 2024年 9月21日 |
|  パキスタン洪水救援基金 | 2023年 12月31日 | 2024年 6月30日 |
|  ウクライナ救援基金 | 2023年 12月31日 | 2024年 6月30日 |



救援基金の仕組み

これらの基金への寄付は、被災地のロータリークラブや地区が実施する災害救援補助金プロジェクトの資金として活用されます。



TAKE ACTION! (災害救援)

被災地に寄り添い、復興への道のりを共に歩むために

緊急・重要アクション



能登半島地震復興支援

被災地のニーズに合わせた継続的な支援活動への参加



災害救援基金への寄付

世界中の被災地を支援するための資金協力

具体的な活用・手続き



MY ROTARYに登録

最新の災害情報の確認やスムーズな寄付手続き



🔄 3本の柱の好循環サイクル



ACTION

この循環を生み出すのは、皆様一人ひとりの「行動」です

Thank You

ご清聴ありがとうございました

「あなたのそばの財団委員会」として、



共に行動を